


個票 8 管理による湿地環境の維持〔森 2(1)①6-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の保護・保全
配慮事項	希少種の保全		
配慮事例	管理による希少種の生息・生育環境の維持・創出		
内容	<p>●管理による湿地環境の維持</p> <p>【解説】</p> <p>兵庫県では、不透水層からしみ出した湧水により涵養されてできた貧栄養湿地が数多くみられます。このような湿地には、湿地環境と強く結び付いた生き物が生息・生育しており、貴重な環境といえますが、このような環境の成立は一時的なものであり、ゆくゆくは自然の遷移により周辺の樹林が発達して消滅してしまいます。しかし、開発によりこのような湿地が減少している現在では、今ある湿地を維持させることが重要になってきています。このため、管理により湿地環境を維持させる試みが各地で行われています。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●周辺樹林の伐採</p> <p>①湿地を明るく保つため、湿地周辺の樹木の伐採、刈り取りを行います。</p> <p>②作業にあたっては、湿地へ踏み込まない、伐採した樹木が湿地内に流れ込まないようにするなど、湿地環境に影響を与えないように留意する必要があります。</p> <p>●モニタリングによる順応的管理</p> <p>湿地に成立する植生や土壌水分条件など立地環境を定期的に調査し、管理の内容や頻度を計画していく、順応的管理が望まれます。</p> <p>【事例】</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-left: 10px;"> <p>【場所】 兵庫県宝塚市 丸山湿原</p> <p>【環境配慮の内容と方法、工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丸山湿原群保全の会」が保全活動を行っている。 ・会では、湿原や湿原周辺の生態学的管理活動、湿原周辺域の里山整備、モニタリング等の自然環境調査が行われている。 </div> </div>		
	出典：2		
参考資料	<p>1 「ひょうごのいきもの・ふるさとを見守るなかま」兵庫県立人と自然の博物館</p> <p>2 兵庫県立人と自然の博物館HP ひとはくニュース http://info.hitohaku.jp/blog/2008/10/28/</p>		